

資料1 9年間をどう使って「目指す子どもの姿」に向かう学びにしていけるか、意見を整理してみました。この表を出発点に進化させていきたいと考えています。 ※検討途中 青字は事務局が例として加筆

【目指す子どもの姿を実現する3つ学び】 ①探究的に学ぶ ②ごちゃまぜに学ぶ ③中川村全体を学びの場としてグローバルに学ぶ						
年間の学び	3区分(目安として)	低学年(小1~小3)	高学年(小4~小6)	中学校(中1~中3)	共通	
		学年・学級のみでなく、異学年や他校、地域の人々との学びも想定				
	授業時間(単位時間)	生活 1年102 2年105 総合 3年70	総合 4年~6年70	総合 1年50 2年70 3年70	生活 週3時間 総合 週2時間	
ふるさと中川学(仮称) 学校編	探究基礎	ねらい	探究スキルを学ぶ	探究スキルを学ぶ	探究スキルを学ぶ	探究スキルを学ぶ
		探究の基礎	発達段階に合わせてオリエンテーション	発達段階に合わせてオリエンテーション	発達段階に合わせてオリエンテーション	知る・問いを持つ 情報を集める 整理・分析する 考える(自分で、対話して) まとめ・発信する
	美しい自然	ねらい	自然の中で遊び、楽しさを味わう	自然について現状と課題を知り、活動する	自然を守り共に生きる方策を考え、アクションする	自然に触れ、魅力を知り、残す(守る)
		発達	自然の中で思い切り遊び楽しむ ※保育園「やまほいく」からの接続 防災に係わる学習	遠足 保全活動に取り組む ミヤマシジミ、フッポウソウ、ツツザキヤマ ジノギク等 防災に係わる学習	宿泊学習(キャンプ) 四徳キャンプ場 小6、中1、中2の縦割り、中1 地球環境を考えアクションする 防災について考えアクションする	
	村の暮らし(歴史・文化等含む)	ねらい	中川村の暮らしを知り、触れる	村の暮らしを広く知り、体験する	村の暮らしを担い、つなげる方策を考え、アクションする	
		村の人達と活動をとおして触れあう	福祉に係わる学習 小学生が参加できるボランティア 村の歴史・文化を知る	福祉に係わる学習 人口減少等について考え、アクションする。		
	農業と食育(給食)	ねらい	収穫の喜びを知る	収穫のために工夫する楽しさを知る	新しい価値・やりがいを生み出す喜びを知る	基幹産業である農業を通して、価値・やりがい等を生み出すことをケーススタディし、深く理解する
		農業体験(生産・販売)米作り、野菜作りなど	保小中で米作り(田植え・収穫) ※園児も参加 しろかき・どろんびっく)	しろかき、ひえ抜き、草刈り等	酒造り⇒成人式で飲む(飯島に事例あり) ※ぶどうづくり→ワインづくり?(南向醸造)	農家さんへのリスペクトを増す学習 スペシャリスト、子どもと同じものをつくる
		給食(食育)との連携	発達段階に合わせた農業体験 野菜作り 茶摘み ※学校に畑 ※学校に果物の樹	農産物販売 学年ごとで野菜や野菜を使ったものを出したりサービスを提供するものでお金を頂く(参観日、どんちゃん祭り、産業祭、村文化祭、世田谷区二子玉川との交流等) チャオでのレゾ体験、専用レゾを作りお客さんを通す 収穫祭をやる、地域の人子ども達の作った物と中川の酒を楽しむ? 出前講座等でやり方を学ぶ、売り上げでパーティーなど	給食メニュー開発・加工 梅づくり→梅加工品ジュースづくり お茶を使った料理、スイーツ給食や望岳荘へ	お手伝い休み(中間休み)の復活 畑や田んぼのお手伝いをする 農家さん発信の掲示板でサポーター募集 地域の「農力」の活用 先生も子どもと同じ立場で参加
		学校行事との連携	例えば 運動会 いも掘り競争(学校の畑で栽培)	マラソン大会 終了後に焼き芋大会	交流活動 販売、調理活動 など	常設給食カフェ 子ども達が作った農産物やメニュー、デザートを提供
キャリア教育	ねらい	多様な人に触れる・仕事を知る	多様な人の生き方、仕事の価値・やりがいに触れる	自分に目を向け、将来の夢を真剣に考え、未来へ向かう	村内の多様な仕事やその価値・やりがい等を知り、将来の夢を持つ	
	生活科・総合学習の時間 地域の方を講師(サポーター)に学ぶ	村人インタビュー・講座 例えば、修学旅行とかに向けて大人の思い出の場所をきく	職場体験 中川村のよさ実感 ⇒(課題)子どもがお客さんになっていないか 小6、中1、中2を縦割りのグループにして		・学校と地域で協力して、WinWinの関係 ・参加した経験意見等発表する ・小中学生と園児、小中学生と高校生・大学生との交流 ・子どもが運営、小学生でもアイデア出す、子どもと地域の人が協力して、大人と同じテーブルで、中学生なら力仕事も ・つなぐためにコーディネートしてくれる人(ボランティア)	
	※これまで「ふるさと学習」をキャリア教育の一環として行ってきた。体験学習を通して地域の人と出会い、自分の生き方を考えて、村に対する誇りを持ちつととも生きる力を育むことをねらいとした。	通学合宿 平日に公民館などで地域の方と生活する。親以外の大人の生活を知る	キャリアフォーラム 家族の仕事紹介の場とする(より身近な職業を感じてもらおう) 知らない中川の仕事をすることができる(目につかない仕事も) より大きなイベントにする(丸1日行う、年2回行う6月・11月) 実行委員会(やりたい人、子どもと大人、チームで)		働く大人に対して子どもがリスペクトの気持ちを持つ学習・体験	
わたしの探究	ねらい	発達段階の多様な体験・学習を土台に、子ども達の興味・関心の裾野を広げ、探究を深める			発達段階に応じて時間を厚くする	
	フリーラーニング	ふるさと講座 地域の方が講師となって学び、それぞれ関心を持ったテーマを調べたり、考えたりする	フリーラーニングの時間+クオリティを上げるための授業 探求するためのヒント発信(講座)学校 フリーラーニングを経験した高校生、大学生、社会人もアドバイスに参加できるとよい			

「目指す子どもの姿」自ら考え、判断し、行動して、人生を開拓する力を育む

地域に根ざした教育
「ふるさと中川学(仮称)」では、中川村の美しさ(魅力)を再発見し、体験的、探究的に学ぶことを大切にします。それぞれの社会的役割や自分との関係性を意識して考え行動することによって自己肯定感を高め、生きる力を育んでいくことを目指します。そして、それぞれの輝かしい未来に向かって人生を開拓していく子どもを育てていきます。

中川村の美しさ(魅力)の再発見
○中川村の面白い人々、やさしい人々
○中川村の豊かな自然・美しい景色
○中川村で作られるおいしい農産物
○中川村の暮らし、歴史・文化など

ワクワクして学び、リアルな体験ができる
○中川村の面白い人々、やさしい人々に出会う
○中川村の自然を遊び、残す
○中川村でおいしい農産物を作る、食べる(販売)
○中川村の暮らしを楽しみ、担う

年間の学び	3区分(目安として)	低学年(小1~小3)	高学年(小4~小6)	中学校(中1~中3)	共通	
ふるさと中川学(仮称) 地域編 中川村ならではの生活体験(学びを支える地域の生活・活動)	課外活動 ねらい 子ども達の居場所を確保し、ネットワークをつくる	居場所づくり 児童クラブ・放課後子ども教室/それ以外の選択(地域でみる?) プレーパーク、すべり山のような遊び場を自由開放で設ける フリーキャンプ、寄り道できる場所、人がいる場所 子ども食堂、フリースクール、フリースペースなど			子どもの居場所づくり意見交換会 子ども育成推進会議(教育委員会・保健福祉課)で発表され、居場所のネットワークづくり、支援策の検討を始めている。	
		多様な体験により、子ども達の興味・関心の裾野を広げる/興味・関心を深められるようにする				
		村の資源を使った体験 水生調査+川遊び、米づくり・野菜づくり・果物づくり、遠足、動物を飼うなど 部活化できないか/決められた委員会活動より行事ごとにやりたい人が集まって活動	部活動、スポーツ活動 部活→地域スポーツ団体、大人と一緒に練習できる(地域移行)	課題解決に向けて 土日は部活動やスポーツクラブなどが優先され、地区行事などの他の活動に参加しにくい 一全体で		
		休日に子どもたちが集まれる場所づくり 小学生(1~6年生)が参加できるボランティア				
		野外の学童				
	夏休みのラジオ体操・プール					
	長期休業中のキャンプ・宿泊体験 夏休み等を使い村内のお宅に泊まる体験(農家に限らず)					
	地域行事 ねらい 多様な体験により、子ども達の興味・関心の裾野を広げる/興味・関心を深められるようにする	音楽の授業で	音楽の授業やクラブ活動で	音楽の授業や地域活動で		地区のあり方の検討の必要性 今後、地区の活動のあり方、公民館活動(分館活動)のあり方や、部活動の地域移行の検討などを通して、地域における活動については検討が必要である。
		地域活動として				
		どんちゃん祭り 授業でも取り上げてもらう 当日は、子どもみこしなどへの参加・体験	課題解決に向けて			
地区行事 参加する		様々な祭り、行事に参加できるように →地区の制約がある →他地区の子どもも受け入れる ⇒学校で、地区を越えて祭りや行事のプレゼン大会 伝統芸能については、外から人を入れるように提言していく? お祭りの復活? 八幡様のお祭り、子ども達がちょうちんを持って練り歩く。楽しかった				

「目指す子どもの姿」
 自ら考え、判断し、行動して、人生を開拓する力を育む

表の中でご意見をいただきたいこと⇒意見提出用紙で

「残す」、「担う」の観点からも内容を位置づけ
 ○これまで中川村の美しさ(魅力)という視点で検討してきたが、「残す」、「担う」の観点から、例えば防災や福祉、人口減少など今日的な課題も入れていく必要がある

今後、継続して検討していくこと

グローバルな学びにつながる位置づけ
 ○グローバルな学びについては、カリキュラムの検討の際に、**教科・領域の学習の観点**とも結びつけて考える。「環境問題」「食糧問題」「少子高齢化問題」など。

学校のカリキュラムとしての位置づけ
 ○学校のカリキュラムとしては、**生活科・総合的な学習の時間**に位置づくと考えられるが、「特別な教科」として位置づける選択肢もある。新たな学校の全体カリキュラムを検討する段階で検討したい。

本日ご意見をいただきたいこと

学校と地域が連携・協働して学びを支える体制づくり
 ○地域の人々が講師やサポートとして入ったり、受け入れたりする**体制づくり**、そのために**必要な人材の配置**が求められる。

地域との連携・協働を進めるための学校施設の工夫
 ○**学校施設をオープン**にして敷居を下げる。地域の人々が入りやすし、地域の人々が使える、交流できる(あるいは疲れた児童生徒も立ち寄れる)場所を設ける。



資料2

学び
ふるさと中川学(仮称) 探究の基礎 美しい自然 村の暮らし 農業と食育(給食) キャリア教育 フリーラーニング 課外活動 地域行事



誰が	どう動く
学校(児童・生徒、先生)	今の時代に合ったやり方を考えることが必要
地区コーディネーター	学校、地域が意見交換することが必要
保護者	色んな人と交わる機会をつくることが必要 →コーディネート・連絡調整役が必要
地域(地域住民、商工会、企業、農家、キャンプ場、専門家等)	SNSや掲示板等の情報共有の仕組みが必要
教育委員会・役場・公民館	広く村内に呼びかけることが必要
児童クラブ、放課後子ども教室、民間のクラブ	誰が主体となるか
地区子ども会、保存会	活動ごとにチームができないか
高校生・大学生	実行委員会形式が良さそうなものもある(キャリアフォーラム等)
栄養士・給食調理員	



場所は
学校は敷居が高い。学校施設をもっとオープンに。そんな部屋を新たな学校にはつくる。

テーマ3について、次の3つの視点で協議をお願いします

- ① 多くの地域の人々や関係者が講師やサポーターとして学校に入ったり、子どもを受け入れたりしやすくするための仕組みは?**
 例えば:(いただいたご意見から)実行委員会形式が良さそうなものもある、(その他)国型コミュニティスクールの仕組みを導入
- ② 新たな学校の学びのために、どのような人材が必要か?**
 例えば:(いただいたご意見から)コーディネート、調整を行うコーディネーターが必要
 村費で雇うべき職員は?
- ③ これまで協議してきたことを実現するために、新たな学校の校舎に求められることは?**
 例えば:(いただいたご意見から)学校施設をオープンにして敷居を下げる。地域の人々が入りやすい、地域の人々が使える、交流できる(あるいは疲れた児童生徒も立ち寄れる)場所を設ける

資料 2

テーマ
ふるさと中川学 (仮称)
探究の基礎
美しい自然
村の暮らし
農業と食育 (給食)
キャリア教育
フリーラーニング
課外活動
地域行事

誰が
学校 (児童・生徒、先生)
地区コーディネーター
保護者
地域 (地域住民、商工会、企業、農家、キャンプ場、専門家等)
教育委員会・役場・公民館
児童クラブ、放課後子ども教室、民間のクラブ
地区子ども会、保存会
高校生・大学生
栄養士・給食調理員

どう動く
今の時代に合ったやり方を考えることが必要
学校、地域が意見交換することが必要
色んな人と交わる機会をつくることが必要 →コーディネート・連絡調整役が必要
SNSや掲示板等の情報共有の仕組みが必要
広く村内に呼びかけることが必要
誰が主体となるか
活動ごとにチームができないか
実行委員会形式が良さそうなものもある (キャリアフォーラム等)

場所は
学校は敷居が高い。学校施設をもっとオープンに。そんな部屋を新たな学校にはつくる。

協議したいテーマ

- ① 多くの地域の人々や関係者が講師やサポーターとして学校に入ったり、子どもを受け入れたりしやすくするための仕組みは？
例えば：国型コミュニティスクールの仕組みを導入
- ② 新たな学校の学びのために、どのような人材が必要か？
例えば：(いただいたご意見から) コーディネート、調整を行うコーディネーターが必要
村費で雇うべき職員は？
- ③ これまで協議してきたことを実現するために、新たな学校の校舎に求められることは？
例えば：(いただいたご意見から) 学校施設をオープンにして敷居を下げる。地域の人々が入りやすし、地域の人々が使える、交流できる (あるいは疲れた児童生徒も立ち寄れる) 場所を設ける